

令和5年2月13日

各位

新潟市水道局  
総務部経理課  
経営企画部計画整備課

計巻施4第102号 管理館改修工事の発注図の修正について（お知らせ）

令和5年2月2日付け新潟市水道局公告第4号(8)で公告した標記工事について、下記のとおり発注図の表記に誤りがありましたのでお知らせします。

質疑について、電子入札システム上で回答済みですが、積算にあたりご注意ください。

併せて、新潟市契約課ホームページの「入札公告・入札情報詳細」からダウンロードできる「設計図書」を差し替えましたので、再度ダウンロードいただきますようお願いいたします。

記

1. 発注図内、図面番号 AM-9「浄化槽特記仕様書」において、開口蓋の耐荷重を(T-20 グレードC)としていましたが、記載内容は誤りで、正しくは(歩行者用)です。

(誤)	(正)
<p>①マンホール等 ②配管材料 ③井筒 ④支持金物等 ⑤その他</p> <p>① 開口蓋は、耐荷重（ T-20グレードC ）を満たすものとする。 ② 槽の開口部はチェッカープレート、マンホール等で覆い、施設又はボルト固定できるものとする。 ③ ステンレス目地充填型化粧蓋（簡易密閉型）とし、材質は素材： 鋳鉄製とする。</p> <p>別表 配管使用表による。 青銅製、鋳鉄製（※ JIS規格品 製造者標準品） ステンレス製、合成樹脂製（※ 製造者標準品） 屋外 ※ SUS304 ※ SS400 屋内 ○ SUS304 ※ SS400（塗装）（機器付属品は除く。）</p> <p>① 主要構造部は掘削条件における土圧、水圧荷重及び地震等に対応する強度を有するものであり、点検及び清掃が容易な構造とする。 ② ユニット形の槽本体に ○ 保護躯体 ・ 機械室上屋）を設置する。 ③ 埋め戻し土は、掘削土の良質土を使用し、ユニット本体に鋭角な砕石などが当たらないようにする。 ④ 残土は場外搬出処理とする。 ⑤ 臭気管設置における掘削及び埋め戻し工事は、本工事とする。 ⑥ 一般事項、共通工事等その他記載なき事項は衛生設備工事仕様書によるものとし、電気設備に関する事項については、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成19年版によるものとする。</p>	<p>①マンホール等 ②配管材料 ③井筒 ④支持金物等 ⑤その他</p> <p>① 開口蓋は、耐荷重（ 歩行者用 ）を満たすものとする。 ② 槽の開口部はチェッカープレート、マンホール等で覆い、施設又はボルト固定できるものとする。 ③ ステンレス目地充填型化粧蓋（簡易密閉型）とし、材質は素材： 鋳鉄製とする。</p> <p>別表 配管使用表による。 青銅製、鋳鉄製（※ JIS規格品 製造者標準品） ステンレス製、合成樹脂製（※ 製造者標準品） 屋外 ※ SUS304 ※ SS400 屋内 ○ SUS304 ※ SS400（塗装）（機器付属品は除く。）</p> <p>① 主要構造部は掘削条件における土圧、水圧荷重及び地震等に対応する強度を有するものであり、点検及び清掃が容易な構造とする。 ② ユニット形の槽本体に ○ 保護躯体 ・ 機械室上屋）を設置する。 ③ 埋め戻し土は、掘削土の良質土を使用し、ユニット本体に鋭角な砕石などが当たらないようにする。 ④ 残土は場外搬出処理とする。 ⑤ 臭気管設置における掘削及び埋め戻し工事は、本工事とする。 ⑥ 一般事項、共通工事等その他記載なき事項は衛生設備工事仕様書によるものとし、電気設備に関する事項については、公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成19年版によるものとする。</p>

2. 発注図内、図面番号 AM-9「浄化槽特記仕様書」において、制御盤の設置が必要な旨の記載をしていましたが、記載内容は誤りで、制御盤の設置は不要です。

(誤)

① 送風機	計量ポンプ等のポンプが必要となる場合は上記に準ずる。 (1) ばっ気用 ○ ルーツ形 ○ ローター形 ・ 水中形 (2) ばっ気槽用送風機には予備を設け、タイマーによる自動交互運転を行う。
① 消泡装置	・ ノズル式 ・ 消泡剤式
① 消毒装置	※ 固形塩素剤減毒器
① 制御盤等	(1) 漏電、過負荷及び満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。 (2) 電力室には停電時の自動復帰装置、機器故障警報プザー及び一括警報遠隔プザー用端子を設ける。

(正)

① 送風機	計量ポンプ等のポンプが必要となる場合は上記に準ずる。 (1) ばっ気用 ○ ルーツ形 ○ ローター形 ・ 水中形 (2) ばっ気槽用送風機には予備を設け、タイマーによる自動交互運転を行う。
① 消泡装置	・ ノズル式 ・ 消泡剤式
① 消毒装置	※ 固形塩素剤減毒器
① 制御盤等	(1) 漏電、過負荷及び満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。 (2) 電力室には停電時の自動復帰装置、機器故障警報プザー及び一括警報遠隔プザー用端子を設ける。

(誤)

① 施工範囲等	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場施工型のコンクリート躯体工事は ( ※ 本工事 ・ 別途工事 )</li> <li>ユニット型の屋根及び上スラブ工事は ( ※ 本工事 ・ 別途工事 )</li> <li>送風機室 ( ・ 本工事 ※ 別途工事 )</li> <li>山留工事 ( ※ 本工事 ・ 別途工事 ) ○ 矢板工法 ( ○ 圧入 ※ 打撃 )</li> <li>杭工事 ( ・ 本工事 ※ 別途工事 )</li> <li>水栓工事 ( ※ 本工事 ・ 別途工事 ) ○ 制御盤 ( ※ 本工事 ・ 別途工事 )</li> <li>一括故障表示用無電圧接点及び端子 ( ※ 設ける ・ 設けない )</li> <li>地盤改良工事 ( ・ 本工事 ※ 別途工事 (表層混合処理工法、底版スラブ'下1m程度)</li> </ul>
① 試運転調整	工事完了後引渡しまで、水負荷運転による試運転調整を実施し、その費用 (光熱費) を負担する。また、使用開始後3ヶ月間を試運転調整期間とし、実負荷運転による調整を実施し、安定運転の後の水質試験の結果報告まで維持管理を行い、その費用 (光熱費を除く) を負担する。
① 備品	構仕による他、下記の備品を本工事に含む。 管理備品 ○ マンホールフック 1組
① 工事区分	本工事の施工範囲は、下表の●印でしめす。 工事区分表

項 目	高	機	給	給	水	汚	水
	機	給	給	給	給	給	給
躯体工事 (結構地盤—含む—除く)							●
構内仮設道路 (ただし、図示した場合は除く)	—	—	—	—	—	—	—
構内面の整地 (ただし、図示した場合は除く)							●
土留矢板工事 (打込み、引抜き共)							●
制御盤への電源供給配管配線 (接地工事を含む)							●
制御盤以降の2次側配管配線 (接地工事を含む)							●

(正)

① 施工範囲等	<ul style="list-style-type: none"> <li>現場施工型のコンクリート躯体工事は ( ※ 本工事 ・ 別途工事 )</li> <li>ユニット型の屋根及び上スラブ工事は ( ※ 本工事 ・ 別途工事 )</li> <li>送風機室 ( ・ 本工事 ※ 別途工事 )</li> <li>山留工事 ( ※ 本工事 ・ 別途工事 ) ○ 矢板工法 ( ○ 圧入 ※ 打撃 )</li> <li>杭工事 ( ・ 本工事 ※ 別途工事 )</li> <li>水栓工事 ( ※ 本工事 ・ 別途工事 ) ○ 制御盤 ( ※ 本工事 ・ 別途工事 )</li> <li>一括故障表示用無電圧接点及び端子 ( ※ 設ける ・ 設けない )</li> <li>地盤改良工事 ( ・ 本工事 ※ 別途工事 (表層混合処理工法、底版スラブ'下1m程度)</li> </ul>
① 試運転調整	工事完了後引渡しまで、水負荷運転による試運転調整を実施し、その費用 (光熱費) を負担する。また、使用開始後3ヶ月間を試運転調整期間とし、実負荷運転による調整を実施し、安定運転の後の水質試験の結果報告まで維持管理を行い、その費用 (光熱費を除く) を負担する。
① 備品	構仕による他、下記の備品を本工事に含む。 管理備品 ○ マンホールフック 1組
① 工事区分	本工事の施工範囲は、下表の●印でしめす。 工事区分表

項 目	高	機	給	給	水	汚	水
	機	給	給	給	給	給	給
躯体工事 (結構地盤—含む—除く)							●
構内仮設道路 (ただし、図示した場合は除く)	—	—	—	—	—	—	—
構内面の整地 (ただし、図示した場合は除く)							●
土留矢板工事 (打込み、引抜き共)							●
制御盤への電源供給配管配線 (接地工事を含む)							●
分電盤以降の2次側配管配線 (接地工事を含む)							●

(誤)

制御盤仕様	
構造	屋外自立型、鋼板製
防水	水切、防水、防塵構造
板厚	本体 - 1.6 t
	扉 - 1.6 t
塗装	指定色 焼付塗装

※警報：一括警報 (無電圧) 端子台取合い

(正)

( 空 白 )